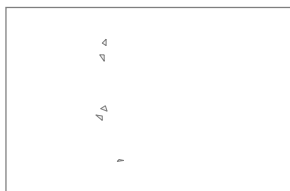


今後の取組の方向性について

令和3年4月2日

経済産業省 製造産業局自動車課

令和2年度スマートモビリティチャレンジの先進パイロット地域（経産省事業） として16地域を選定



| | | |
|---|-------|-----------------|
| ① | 北海道 | 北海道上士幌町 |
| ② | 北海道 | 北海道北広島市 |
| ③ | 東北 | 福島県南相馬市、浪江町、双葉町 |
| ④ | 東北／関東 | 日立、会津地域 |
| ⑤ | 関東 | 新潟県新潟市 |
| ⑥ | 関東 | 東京都町田市 |
| ⑦ | 関東 | 長野県塩尻市 |
| ⑧ | 関東 | 静岡県静岡市 |
| ⑨ | 関東 | 静岡県湖西市 |
| ⑩ | 関東 | 静岡県浜松市 |
| ⑪ | 中部 | 愛知県尾三地区南部 |
| ⑫ | 中部 | 愛知県常滑市 |
| ⑬ | 近畿 | 福井県永平寺町 |
| ⑭ | 近畿 | 兵庫県養父市 |
| ⑮ | 中国 | 広島県庄原市 |
| ⑯ | 四国 | 香川県三豊市 |

● 先進パイロット地域（経産省事業）

※国交省事業についても実証地域を選定

地域新MaaS創出推進事業における先進パイロット地域の取組事例

- 令和2年度は、以下のA～Eの要素及び自動走行を活用したものを対象として、先進パイロット地域を選定し、実証事業を実施し、ビジネスモデルの検証や事業環境整備に向けた課題整理を行った。

A：他の移動との重ね掛けによる効率化

- デマンドタクシー、福祉バスでの貨物輸送や配送車両での旅客輸送を行い収益性や住民の受容性を検証（永平寺町、上土幌町）
- 介護福祉施設の共同輸送による効率化の検証（三豊市）
- 企業シャトルバスを用いた自家用有償旅客運送の検証（湖西市）

<配送車両による旅客輸送>



<企業バスを利用する住民>

B：モビリティでのサービス提供

- AIによる移動販売車の巡回ルート最適化に向けた検証（養父市）
- 高齢患者を対象に移動診療車を用いたオンライン診療・服薬指導、ドローンを活用した薬剤配送を検証（浜松市）

<移動診療車>



<移動販売>

C：需要側の変容を促す仕掛け

- 商業・医療・福祉施設と連携したオンデマンド交通における、オフピーク利用インセンティブ付与の効果の検証（町田市）
- ポイント等のインセンティブ付与による密を避けた観光行動の変容の可能性を検証（常滑市）
- デマンド型交通システムの精度向上により効率的なダイナミックルーティングを検証（愛知県尾三地区）



D：異業種との連携による収益活用・付加価値創出

- 小規模店舗の独自商品と周遊券や片道券の交通サービスを組み合わせ商品販売を行うことでの収益性を検証（ひたち・会津若松市）
- 地域商業施設の広告収益等を確保し、その収益を循環させることで公共交通事業費を補填できる可能性を検証（北広島市）



<広告表示の様子>



<商品サービス提供の様子>

E：モビリティ関連データの取得、交通・都市政策との連携

- 各種データ（バスICカードデータ、りゅうとなびデータ、ETC2.0プローブデータ、駐車場データ、タクシープローブデータ）を取得・分析し、都心の魅力向上に資する施策を立案（新潟市）
- 自家用車移動データや交通ICカードから移動実態を把握し、複合分析することで、移動サービスの全体最適化を検討（静岡市）
- 公共交通データ、移動データ、消費データ等を統合したデータ連携基盤の構築し、シミュレーションを行うことで各種施策立案や評価分析（広島県）

横断的取組：自動走行を活用したMaaS

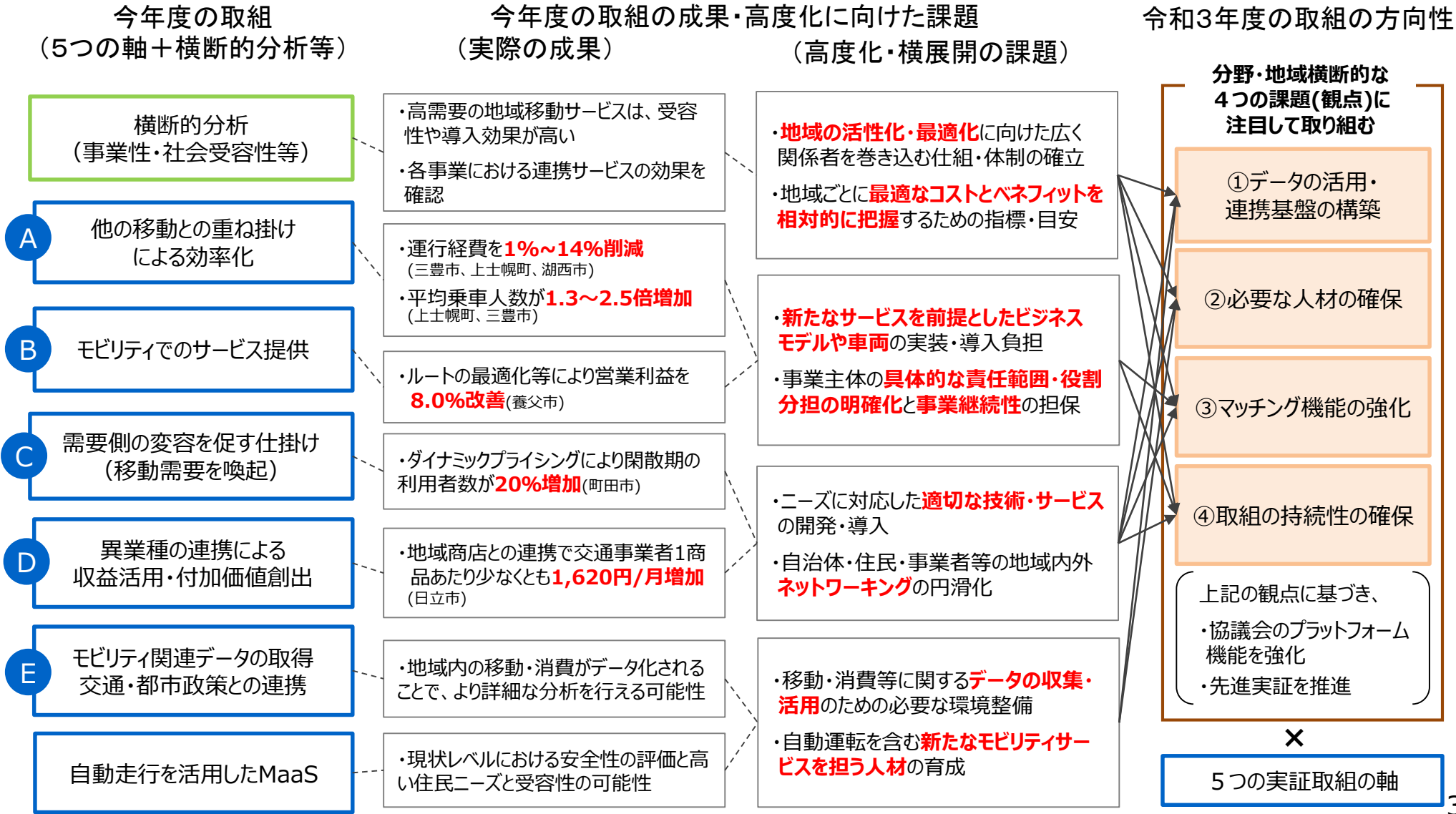
- 町中心部を定期運行する巡回シャトルとデマンドタクシー等を、道の駅を拠点に接続させることで、サービスの効率化を検証（浪江町・南相馬市・双葉町）
- 1人对複数車両における遠隔監視技術の実用性、自動運転の安全性向上に必要なICTインフラと歩行者等に対する安全方策の効果を検証（塩尻市）

<自動走行車・遠隔監視室>



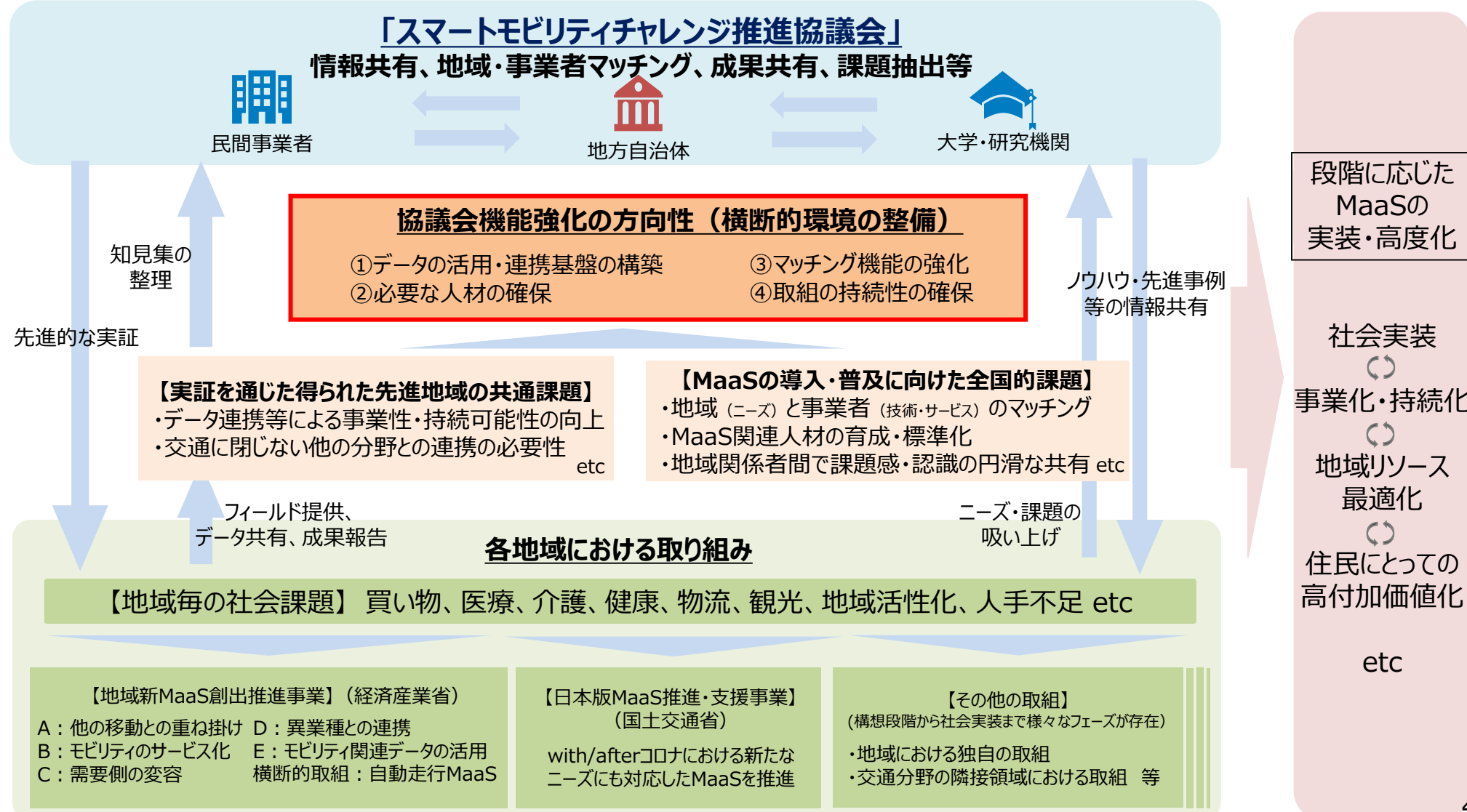
令和2年度「地域新MaaS創出推進事業」を踏まえた課題整理と来年度の方向性

● 地域新MaaS創出推進事業の各取組から得られた課題や横断的分析の成果を踏まえ、令和3年度の実証で注力すべき視点や、スマートモビリティチャレンジ推進協議会の体制強化の方向性を整理した。



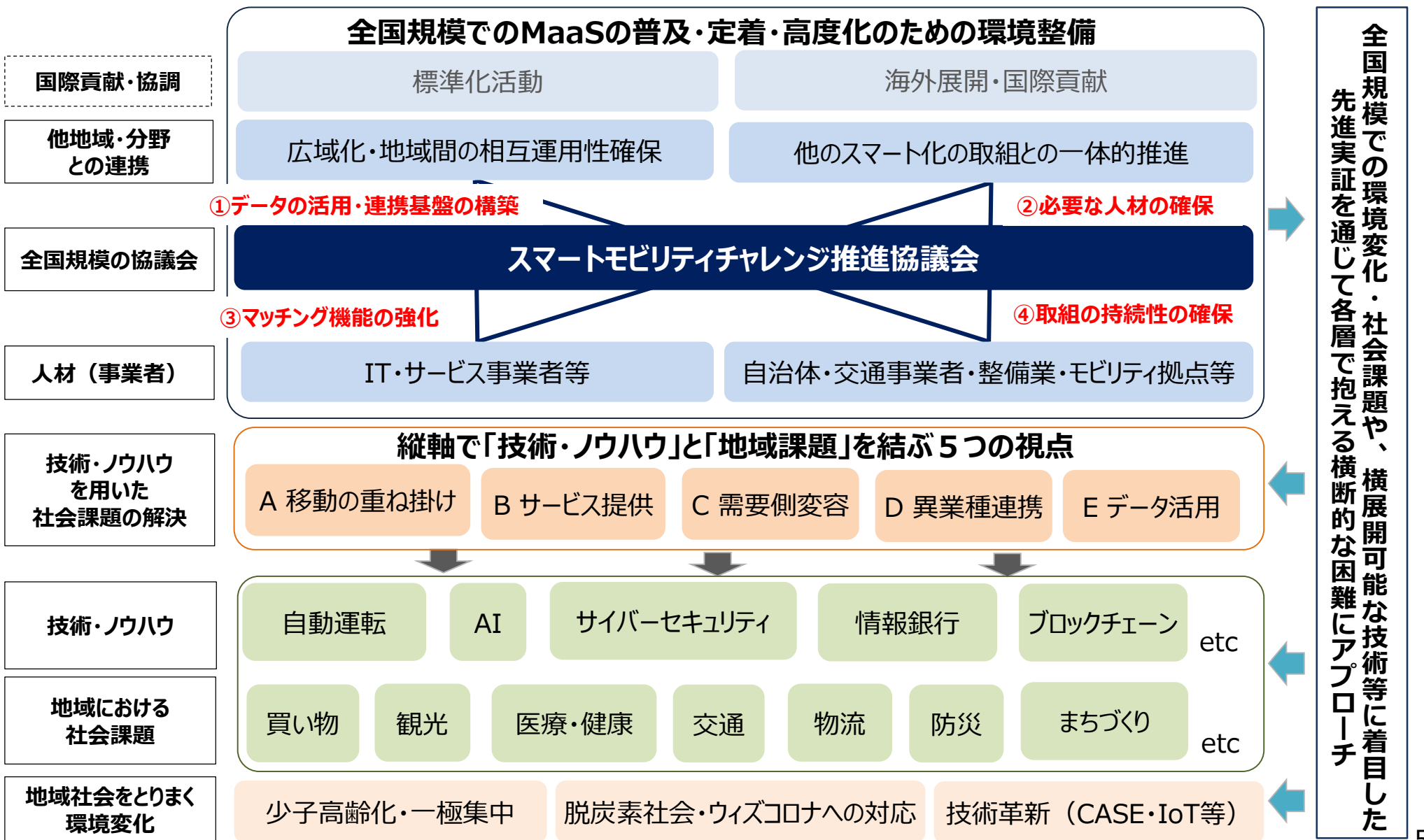
スマートモビリティチャレンジ推進協議会のプラットフォーム機能強化の方向性

- 先進地域における取組が一定程度進展し、分野・地域横断的な課題も明らかになりつつある現状を踏まえ、MaaSの一層の普及・定着・高度化を促すべく、協議会として課題の吸い上げやマッチングに係る機能を強化し、移動課題を起点に広く地域の社会課題を解決する、全国規模でのエコシステムの構築を目指す。



全国的なMaaSの普及・定着・高度化を目指す先進実証の方向性

- これまでの実証の成果や課題を踏まえ、全国規模でのMaaSの普及・定着・高度化に資する先進実証を推進。



今後の取組の方向性について（まとめ）

- 令和2年度の方向性として示した5つのテーマについては、実証実験の取組の結果から地域課題の解決に向けた一定の成果が得られた。
- 他方で、令和2年度の実証実験を横断的に分析した結果、先進的な取組を全国に展開し、各地域で社会実装・高度化していくためには、更に以下の取組が必要ということが全国的な課題として確認された。
 - ①データの活用・連携基盤の構築
 - ②必要な人材の確保
 - ③マッチング機能の強化
 - ④取組の持続性の確保
- 令和3年度については、5つのテーマを踏まえつつ、上記の横断的な課題を踏まえた、さらなる高度化に取り組むMaaS実証を実施することとする。
- 同時に、スマートモビリティチャレンジ推進協議会を核としながら、実証地域や先進的にMaaSに取り組む地域から得られた知見等を全国に横展開するべく、協議会の課題の吸い上げやマッチングに係る機能の強化を行う。

(参考) スマートモビリティチャレンジプロジェクト

- 新たなモビリティサービスの社会実装を通じた移動課題の解決及び地域活性化を目指し、地域と企業の協働による意欲的な挑戦を促す「スマートモビリティチャレンジ」プロジェクトを国土交通省・経済産業省で令和元年4月より開始。今年度も継続して展開。
- スマートモビリティチャレンジ推進協議会では、MaaSに関する情報発信や会員同士のマッチング、シンポジウム開催などの**地域・企業等の連携強化を促進**する取組を実施。
- 令和2年度は、実証実験で得られた成果や課題を踏まえ、**新しいモビリティサービスの社会実装に向けた知見集(令和2年度版)**を作成し、地域・企業等に対し発信。

地域・事業者の更なる連携に向けた経産省・国交省の取組

「スマートモビリティチャレンジ推進協議会」

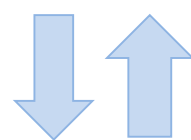
情報共有、地域・事業者マッチング、成果共有、課題抽出等

ニーズに
応じた支援



フィールド提供、
データ共有、
成果報告

協議会に情報提供
提言づくり等に参画



情報提供・
課題分析

日本版 MaaS
推進・支援事業
(国土交通省)

地域新MaaS
創出推進事業
(経済産業省)

全306団体(内自治体105)

※2021年3月末時点



民間事業者



地方自治体



大学・研究機関